

## 生物工学若手研究者の集い 夏のセミナー2013 顛末記

後藤 正利

本年度の生物工学若手研究者の集い(若手会)・夏のセミナーは7月13日～7月14日の日程で宮崎県フェニックスシーガイアリゾートを会場として開催されました。7年ぶりの九州での開催ということで、特色をだすために生物工学会と九州になじみの深い本格焼酎に関する講演会を企画しました。おかげさまで本格焼酎企業からの参加者に加え、学会関連企業からも多くの皆様にご参加いただきました。一般79名、学生63名、計142名の若手研究者が、全国から宮崎県に集い、親睦を深め、有意義な時間を過ごすことができました。

1日目は、本格焼酎に関する講演会で、那須慶介先生(高橋酒造)、高下秀春先生(三和酒類)、宮川博士先生(霧島酒造)、金丸兼三先生(雲海酒造)から、個性の異なるさまざまな本格焼酎の歴史、文化、製造法、飲み方までの説明がありました。また、木下健司先生(武庫川女子大学)からは、本格焼酎企業とは異なる視点からのお酒とのつきあい方について、ご教示いただきました。つづいて、本格焼酎の試飲会が開催され、企業の若手研究者、技術者が本格焼酎について熱く語り合っていました。飲み過ぎないうちに、ポスターセッションが開催されました。学生49題、一般12題、計61題のポスター発表が行われ、多様な分野を内包する生物工学について、ポスター掲示板各所で活発な討論が繰りひろげられました。

その後、休憩をはさんで懇親会が開催されました。小林元太先生(夏のセミナー1999熊本代表)の乾杯の挨拶の後、広島大学、京都大学、九州大学、宮崎大学の学生さんによる研究室紹介、余興と、参加者一丸となって和気あいあいと親睦を深めました。引き続き、会場を移動して、夏のセミナー名物の交流会が開催されました。なかには朝まで親睦を深めた猛者もいたようです。

2日目は、左山幹雄先生(産業技術総合研究所)、飯島信司先生(名古屋大学)、小林元太先生(佐賀大学)、富田悟志先生(タイテック)から最先端の地球生物化学、生物工学の人生論、若手会のあり方、思考論理力の水平展開術と、さまざまな背景をもった若手研究者の集まりである生物工学若手会ならではの、多様性に富んだ話題をご提供いただき、熱心に拝聴していました。

閉会式では、馬場健史若手会会長により、ポスター賞の表彰が行われました。学生の部では、里村淳さん(京大院農)、相馬悠希さん(京大院農)、西田奈央さん(京大院農)、馬場保徳さん(東大院農)、村上菜緒さん(京大院農)、山口雅紀さん(京大院工)が、一般の部では片岡尚也さん(山口大農)が、ポスター賞を受賞しました。

おめでとうございます。さらなる飛躍を祈念いたします。

今回の夏のセミナーでは、新たな試みとしてエクスカージョンを企画いたしました。34名の参加がありました。バスで日南地方に移動して、酷暑のなか鶴戸神社を巡り、京屋酒造、落合酒造場の本格焼酎酒蔵を見学いたしました。夕刻に宮崎市内に戻り、講演会を開催しました。園元謙二先生(生物工学会会長、九大院農)から、ご自身の体験談を交え、参加者に生物工学分野をより楽しんで成功するための秘策を授けていただきました。

夏のセミナー参加者が、生物工学のよき友人と出会え、親睦を深められ、パワーアップされたことを願っております。今回、夏のセミナーを宮崎で開催するにあたり、いくつかの新たな取り組みを試みましたが、無事盛会のうちに終えることができました。多大なるご支援を賜りました日本生物工学会、九州支部、九州本格焼酎協議会、宮崎県酒造組合、みやざき観光コンベンション協会、協賛の各企業様に心から御礼申し上げます。また、夏のセミナー運営委員としてともにご協力いただきました宮崎大学の榊原陽一先生、井上謙吾先生、黒木勝久先生、廣瀬遵先生、九州大学の善藤威史先生、田代幸寛先生、二神泰基先生、河邊佳典先生にこの場をお借りして御礼申し上げます。

夏のセミナーの様子を若手会ホームページで公開していますので、是非ご覧ください。

<http://www.sbj.or.jp/division/young/>

